

第 30 回 神奈川県がん診療連携協議会 議事録

日時： 令和 5 年 3 月 13 日(月) 17:30~18:55

場所： 管理・研究棟 5 階 講堂

形式： 対面形式

出席者： 61 名

議題

1 開会【金森協議会長より】

協議会長より、開会の挨拶があった。

・挨拶【古瀬総長より】

コロナも落ち着いてきて、いよいよ対面によりフェース・トゥ・フェースで色々な大事な事を相談していかなければならない。

神奈川県は東京都など複数の隣接都県もフォローしなければならない責任ある県になりますので、今後 1 人 1 人の患者さんを大事にしていくためにも、先を見据えてしっかり協力していきましょう。

2 神奈川県がん・疾病対策課連絡事項【神奈川県がん疾病対策課長 下山田様より】

資料を元に以下 4 点の説明があった。

・神奈川県立がんセンター及び神奈川県ホームページにおける、がん情報の発信について(治療実績・緩和ケア実績等)

→患者さん目線で患者さんに分かりやすい情報をシンプルな形で発信したいと

考えている。【金森協議会長より】

・インターネット環境の整備について(令和 4 年 8 月がん診療連携拠点病院の新整備指針より)

・男性用トイレへのサンタリーボックス設置について(今年度末時点で県の公共施設の 80%が設置済み)

・重粒子線治療の公的保険範囲の拡充について(令和 4 年 4 月より適用)

3 議題

(1) 各部会からの報告

① がん薬物療法部会の報告【酒井部会長より】

○第 1 回がん薬物療法部会(令和 4 年 6 月 6 日開催)の議事録を元に説明した。

・AYA 世代の妊孕性温存と県の取り組みである Kanaof-net に関して、金森協議会会長と得相談支援部会長より、説明があった。

・事前アンケート結果の共有(新型コロナウイルス感染症の蔓延化における薬物療法

の影響について)

○第2回がん薬物療法部会(令和5年3月6日開催)の議事録を元に説明した。

- ・事前アンケート結果の共有(妊孕性温存、AYA支援チーム、AYA世代のがん患者さんに対する支援体制の構築等について)
- ・講演「がん治療前妊孕性温存治療：男性編と温存ネットワーク・助成金制度のご説明」
→横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター 泌尿器科 湯村寧先生より
「がん治療前妊孕性温存治療：女性編」：横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター 婦人科 葉山 智工先生より
婦人科医師より

○神奈川県共催で開催(令和5年3月23日)する「外来化学療法セミナー」の案内。

② がん相談支援部会の報告【得部会長より】

○相談支援部会活動報告資料等を元に説明した。

- ・第19回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会相談支援部会の報告。
- ・ワーキンググループ(7つ)の活動報告について

成果として下記のもの得到了

「各施設のがん患者サロン開催状況の一覧」更新(県HP更新)

「神奈川県内の緩和ケア病棟の申し込み方法一覧(相談員手持ち資料)」作成中

「妊孕性温存治療施設への連携フロー(医療者用)」作成 資料

「がん相談支援センターの紹介」pp作成(県HP・各施設HPに掲載)

- ・埼玉県主催の「相談支援フォーラム(4都県共同)」の報告。
- ・協議会での検討の要望について(各施設のホームページ検索窓の設定、がん患者の自殺リスクへの体制づくり、災害対策等)
- ・県ホームページに掲載している「がん患者サロン」開催状況一覧について。
→第4期指定要件の中に「がん相談支援センターを全てのがん患者さんが1度は訪問する」ことが掲げられたため、今後は各施設の情報(良い事例等)を共有していく必要がある。【金森協議会長より】

③ 院内がん登録部会の報告【小池部会長より】

○配布した資料を元に説明した。

- ・第2回院内がん登録部会(令和5年2月20日開催)の報告。
- ・2021年院内がん登録全国集計の結果報告。
- ・オプアウト研究参加「可否」についての対応方法(院内ポスター掲示等)

④ 緩和ケア部会の報告【太田部会長より】

○配布した資料を元に説明した。

- ・都道府県協議会の役割(緩和ケア部門)について。

→各施設の緩和ケア提供体制についての情報共有に努めたい。

- ・事前アンケート結果の共有(地域がん診療連携拠点病院の指定要件に関する)

⑤ PDCA サイクル推進部会の報告【金森協議会長より】

- ・各部会でテーマを決め、それを中心にプラン・ドゥ・チェックを継続していただきたい。

(2)「がん診療連携拠点病院等の整備指針の見直し」の概要について

資料を元に説明があった。【金森協議会長より】

- ・第22回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会(令和5年1月19日)により、今回以下の整備指針が見直しされた。

→ I 都道府県協議会の機能強化。

(各施設の役割分担を整理、明確にし、情報を集約して各施設に共有広く周知する) *当院にがん情報センターを設置予定(令和5年4月より)

II 更なるがん医療提供体制の充実。

(都道府県全体のがん医療の質を向上させる為の具体的な計画を立案する)

III それぞれの特性に応じた診療提供体制。

IV 指定に関する課題の整理。

- ・要件未充足がある場合は、「特例」扱いになり、1年以内に改善しなければならない。

→未充足が継続していると、「指定取り消し」になる。

(他施設よりご質問)

今後、個々の病院レベルで対応するのに厳しい要件などの場合には、この協議会が中心となり各施設への情報提供及び連携支援等は可能ですか？

→その対応を協議会で担う事により、各施設が得意、不得意をカバーしながら県全体のがん診療の向上に努めるため、その視点から取組んでいきたい。【金森協議会長より】

(3) 連絡事項【神奈川県歯科医師会 大持充様より】

- ・作成した口腔ケア用のリーフレット(がん治療とお口の知られざる関係)のご紹介。

4 閉会【金森協議会長より】

- ・協議会長より閉会の挨拶があり、次回は7月末頃(今後、新協議会長と調整)を予定しているとの説明があった。

また今月末で退職するため、10年間務めた会長職を退き、後任の協議会長には酒井副院長を指名。

→酒井新協議会長より挨拶。

- ・挨拶【がん診療連携協議会副会長 岡本浩明様より】

→先生方と一緒に施策についていろいろと勉強し、少しでも神奈川県のためにお役に立てるよう努力してまいりたい。

- ・事務局より事務連絡があった。